

第19回全国障害者スポーツ大会
茨城県準備委員会

第2回委員会



平成27年2月2日（月）
茨城県庁舎 11階
共用会議室1106・1107

※表紙中央の図は、全国障害者スポーツ大会のシンボルマークです。

第19回全国障害者スポーツ大会茨城県準備委員会

第2回委員会資料目次

○第2回委員会出席者名簿	(別紙)
○第2回委員会配席図	(別紙)
○第2回委員会次第	・・・ 1
＜審議事項＞	
○第1号議案 第19回全国障害者スポーツ大会 開催基本方針（案）について	・・・ 2
○第2号議案 第19回全国障害者スポーツ大会 広報基本計画（案）について	・・・ 6
○第3号議案 第19回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本計画（案）について	・・・ 8
○第4号議案 第19回全国障害者スポーツ大会 会場地バリアフリー等基本方針（案）について	・・・ 9
○第5号議案 第19回全国障害者スポーツ大会 マスコットキャラクターの愛称（案）について	・・・ 10
＜報告事項＞	
○報告事項1 第19回全国障害者スポーツ大会茨城県選手育成・強化 検討委員会の設置及び審議状況について	・・・ 11
○報告事項2 第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大 会」での茨城県選手団の結果について	・・・ 14

第19回全国障害者スポーツ大会茨城県準備委員会 第2回委員会 次第

日 時 平成27年2月2日(月) 10:00～11:30
場 所 茨城県庁舎 11階 共用会議室 1106・1107

1 開会

2 あいさつ

3 審議事項

- ・第1号議案 第19回全国障害者スポーツ大会開催基本方針(案)について
- ・第2号議案 第19回全国障害者スポーツ大会広報基本計画(案)について
- ・第3号議案 第19回全国障害者スポーツ大会県民運動基本計画(案)について
- ・第4号議案 第19回全国障害者スポーツ大会会場地バリアフリー等基本方針(案)について
- ・第5号議案 第19回全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクターの愛称(案)について

4 報告事項

- ・報告事項1 第19回全国障害者スポーツ大会茨城県選手育成・強化検討委員会の設置及び審議状況について
- ・報告事項2 第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」での茨城県選手団の結果について

5 質疑応答

6 閉会

審 議 事 項

第19回全国障害者スポーツ大会 開催基本方針（案）について

「みんなで創る 人が輝く元気で住みよい いばらき」で開催される第19回全国障害者スポーツ大会は、障害に対する理解を深め、障害者の社会参加に寄与する大会とするとともに、障害がある人もない人もすべての人が共に歩み幸せに暮らせる社会を目指す大会とし、次の3つを基本方針とします。

1 可能性にチャレンジし、人が輝き元気になる大会

多くの県民がボランティアや県民運動など様々な活動で大会開催に参加し、来県者の方々に対して誠意とまごころ、おもてなしと思いやりの心をもって温かくお迎えするとともに、競技や記念イベント等を通して、障害のある人もない人もすべての参加者が可能性にチャレンジし、感動や喜びを共有できる大会とします。

2 「いばらきの魅力」を発信する大会

県民1人ひとりが、大会開催を通して、いばらきならではの豊かな自然や歴史、文化、祭り、温泉、郷土料理、特産品、最先端の科学技術など魅力ある地域資源を再認識するとともに、これら「いばらきの魅力」を、県広報誌、ホームページをはじめ、新聞、ラジオ、テレビなど多様な広報媒体を積極的に活用し情報発信して参ります。

3 変えよう 示そう わたしの力で

障害のある人もそうでない人もすべての人が、分け隔てのない多様な個性を包容し、お互いに助け合う、「共生社会」を創るために、思いやりの心を共有しながら、夢と勇気と感動をお届けする障害者スポーツ大会を目指します。

委員の皆様からいただいたご意見

○ スポーツ大会なので、他県も用いていますが「可能性」や「チャレンジ」といったスポーツからイメージするような文言が入った開催方針が良いのではないのでしょうか。

○ 第19回全国障害者スポーツ大会を通し、「変えよう 示そう わたしの力で」が、本大会のメッセージとして全国に発信され、障害のある人もそうでない人もすべての人が、分け隔てのない多様な個性を包容し、お互いに助け合う、「共生社会」を創るために、思いやりの心を共有しながら、夢と勇気と感動をお届けする障害者スポーツ大会を目指します。

翌年には、世界中を熱狂させる「東京オリンピック・パラリンピック」が控えていることから、前年に実施する本県のスポーツ大会は、日本中に大きな関心と興味を示す大会になります。

これを契機に、茨城県の豊かな湖水と緑の大地、つくば科学と日本一農業県等の魅力を広く知って頂きます。

第19回全国障害者スポーツ大会 開催基本方針（案）比較

修正（案）	原案
<p>「みんなで創る 人が輝く元気で住みよい いばらき」で開催される第19回全国障害者スポーツ大会は、障害に対する理解を深め、障害者の社会参加に寄与する大会とするとともに、障害がある人もない人もすべての人が共に歩み幸せに暮らせる社会を目指す大会とし、次の3つを基本方針とします。</p> <p>1 可能性にチャレンジし、人が輝き元気になる大会</p> <p>多くの県民がボランティアや県民運動など様々な活動で大会開催に参加し、来県者の方々に対して誠意とまごころ、おもてなしと思いやりの心をもって温かくお迎えするとともに、競技や記念イベント等を通して、障害のある人もない人もすべての参加者が<u>可能性にチャレンジし、感動や喜びを共有できる大会</u>とします。</p> <p>2 「いばらきの魅力」を発信する大会</p> <p>県民1人ひとりが、大会開催を通して、いばらきならではの豊かな自然や歴史、文化、祭り、温泉、郷土料理、特産品、最先端の科学技術など魅力ある地域資源を再認識するとともに、これら「いばらきの魅力」を、県広報誌、ホームページをはじめ、新聞、ラジオ、テレビなど多様な広報媒体を積極的に活用し情報発信して参ります。</p> <p>3 変えよう 示そう わたしので</p> <p><u>障害のある人もそうでない人もすべての人が、分け隔てのない多様な個性を包容し、お互いに助け合う、「共生社会」を創るために、思いやりの心を共有しながら、夢と勇気と感動をお届けする障害者スポーツ大会を目指します。</u></p>	<p>「みんなで創る 人が輝く元気で住みよい いばらき」で開催される第19回全国障害者スポーツ大会は、障害に対する理解を深め、障害者の社会参加に寄与する大会とするとともに、障害がある人もない人もすべての人が共に歩み幸せに暮らせる社会を目指す大会とし、次の3つを基本方針とします。</p> <p>1 人が輝き元気になる大会</p> <p>多くの県民がボランティアや県民運動など様々な活動で大会開催に参加し、来県者の方々に対して誠意とまごころ、おもてなしと思いやりの心をもって温かくお迎えするとともに、競技や記念イベント等を通して、障害のある人もない人もすべての参加者が感動や喜びを共有できる大会とします。</p> <p>2 「いばらきの魅力」を発信する大会</p> <p>県民1人ひとりが、大会開催を通して、いばらきならではの豊かな自然や歴史、文化、祭り、温泉、郷土料理、特産品、最先端の科学技術など魅力ある地域資源を再認識するとともに、これら「いばらきの魅力」を、県広報誌、ホームページをはじめ、新聞、ラジオ、テレビなど多様な広報媒体を積極的に活用し情報発信して参ります。</p> <p>3 互いに認め合い支え合う社会を目指す大会</p> <p>来県者や県民の出会いと交流を促進し、障害に対する理解を深め、障害のある人もない人も、相互に人格と個性を尊重しながら、共に歩み幸せに暮らすことができる社会を目指す大会とします。</p>

全国障害者スポーツ大会 開催基本方針 先催県比較表

	第15回 (H27年開催)	第16回 (H28年開催)	第17回 (H29年開催)	第18回 (H30年開催)	第19回 (H31年開催)
	和歌山県	岩手県	愛媛県	福井県	茨城県 (案)
全国障害者スポーツ大会	<p>第15回全国障害者スポーツ大会は、全国に和歌山県の魅力を強くアピールし、「空青し 山青し 海青し」と謳われる自然あふれる『紀の国わかやま』で出会い、共に楽しむことを喜び、障害のある人もない人も参加者みんなで一体となって創りあげ、互いの絆を深める大会を目指し、次の3つを基本方針とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○可能性へのチャレンジ! ○心温まる「紀の国わかやま」へ ○支えあう未来へ 	<p>第16回全国障害者スポーツ大会は、障がい者スポーツの普及や障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与する大会とし、この大会を契機として障がいのある人もない人も共に支えあう社会を目指す大会とします。また、第71回国民体育大会と一体の大会として、「県民の総力を結集して、夢と感動を与え、復興のシンボルとなる大会」を共通の目標とし、次の3つを基本方針とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○復興の力となる大会 ○可能性にチャレンジし、だれもが輝く大会 ○共に支えあう社会を目指す大会 	<p>「愛のくに 愛顔あふれる愛媛県」で、平成29年の開催する第17回全国障害者スポーツ大会は、障害のある人もない人も、スポーツを通じて、障害に対する理解を深めるとともに、新たな可能性へのチャレンジと、共に支え合う心の交流から生まれる愛顔を日本中につなげていく大会を目指して、次の3つを基本目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○誰もが“絆”を実感できる大会を創ろう! ○みんなの“愛顔”があふれる大会を楽しもう! ○未来へはばたく“新しい自分”を見つけよう! 	<p>自然豊かで、伝統文化やコミュニティのつながりが多く残る「にっぽんのふるさと福井」で開催される第18回全国障害者スポーツ大会は、障害のある人もない人もすべての人が、スポーツを通じて福井の元気としあわせを共有し、一人ひとりの夢と希望を明るく未来につなげる「福井しあわせ元気大会」を目指します。選手は持てる「力と技と美しさ」を存分に発揮し、すべての人とスポーツの楽しさと感動を共有します。県民は「する」「みる」「支える」のそれぞれの立場でこの大会に参画し、障害について理解を深め、お互いに支え合いながら、心をひとつに織りなし、大会を創りあげます。障害のある人もない人も、スポーツのすばらしさや可能性を共有し、生涯にわたってスポーツを楽しむことができる、しあわせな未来へとつなげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「すべての人が支えあいスポーツのすばらしさを未来につなげる」 	<p>「みんなで創る 人が輝く元気で住みよい いばらき」で開催される第19回全国障害者スポーツ大会は、障害に対する理解を深め、障害者の社会参加に寄与する大会とするとともに、障害がある人もない人もすべての人が共に歩み幸せに暮らせる社会を目指す大会とし、次の3つを基本方針とします。</p> <p>(生活大県プラン、大会開催基準要綱、権利条例から引用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○可能性にチャレンジし、人が輝き元気になる大会 (委員ご意見、生活大県プラン引用) ○「いばらきの魅力」を発信する大会 (茨城国体開催基本方針から引用) ○変えよう 示そう わたしの力で (委員ご意見)
国体	<ul style="list-style-type: none"> ○県民総参加による大会 ○施設の有効活用など創意工夫を凝らした大会 ○人情あふれる心のこもった大会 ○和歌山の魅力を全国に発信する大会 ○国体後も県内各地域において継続的なスポーツ振興を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ○東日本大震災津波災害からの復興の力となる大会 ○県民との協働を基本とする開かれた大会 ○岩手のスポーツ水準の飛躍的向上と生涯スポーツの推進を図る大会 ○岩手の魅力を再認識し全国へ発信する大会 ○岩手らしいおもてなしの心であふれ交流を広げる大会 ○広く地域に根ざした大会 ○簡素・効率化に努める大会 	<ul style="list-style-type: none"> ○県出身の「手づくり選手」が大活躍し、「手づくりスタッフ」が支える「手づくり国体」 ○県民のスポーツ活動(する、みる、支える)の活性化につながる「実になる国体」 ○既存の施設を最大限に活用するなど、簡素化に努める「身の丈にあった国体」 ○全国からの参加者と県民が民泊等により交流を深める「ふれあいの国体」 ○愛媛の自然や文化等の魅力を全国に発信する「愛媛らしさあふれる国体」 	<ul style="list-style-type: none"> ○県民の元気と創意を結集 (1県民1参加) ○スポーツの県民生活への浸透 (1県民1スポーツ) ○ふるさとの魅力を発揮 (1県民1自慢) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「いばらきの魅力」を発信する国体 ○茨城の特色を生かし、創意工夫を凝らした国体 ○人情味あふれるおもてなしで創る国体 ○更なるスポーツの推進を図る国体

第19回全国障害者スポーツ大会 広報基本計画（案）について

第19回全国障害者スポーツ大会広報基本方針に基づき、次の広報活動を積極的かつ効果的に推進する。

1 広報活動

ア 愛称・スローガン等による広報

大会を象徴する愛称・スローガン等を普及する。

- (1) 愛称・スローガン等の普及
- (2) マスコットの普及
- (3) イメージソングの制定及び普及

イ 印刷物による広報

各種印刷物の作成及び既存の広報紙等を活用し、積極的な広報活動を展開する。

- (1) 広報紙の発行
- (2) ポスターの作成
- (3) パンフレットの作成
- (4) 各種ガイドブックの作成
- (5) 県、市町村、関係機関・団体及び企業等の刊行物（広報紙等）の活用

ウ 多様なメディアによる広報

報道機関との連携を密にし、迅速かつ効果的な情報の伝達に努める。

また、インターネットなど多様なメディアを活用し、いばらきの魅力を効果的に全国に発信する。

- (1) 新聞、ラジオ、テレビ等による広報活動の推進
- (2) 県・市町村の広報活動（ラジオ、テレビ、インターネットテレビ）の活用
- (3) インターネットや新たなメディアの活用

エ イベントによる広報

大会開催までの節目における啓発イベントを開催するとともに、県民運動や各種イベントと連携した広報活動を実施する。

- (1) 啓発イベントの開催
- (2) 県民（市町村民）運動及び各種団体・企業等のイベントとの連携

オ 屋外広報物による広報

広告塔や横断幕等を設置して大会開催の広報に努める。

- (1) 広告塔, 歓迎塔, 歓迎アーチ等の設置
- (2) 横断幕, 懸垂幕等の設置
- (3) 案内板, カウントダウンボード等の設置

カ 映像による広報

県民の参加意識の高揚を図るため, 映像を活用した広報を実施する。

- (1) 前回大会記録映像等 (DVD等) の貸出
- (2) 広報用映像 (DVD等) の制作及び貸出

キ 参加章等の作成

大会の開催を記念し, 大会参加章や記念グッズを作成する。

- (1) 参加章等の作成
- (2) 記念グッズ等の作成

2 大会の記録

報告書及び記録映像などを制作し, 記念すべき大会の記録として残すとともに, 障害者スポーツの振興及び障害に対する理解と認識を深めるために活用する。

- (1) 大会記録映像 (DVD等) の制作
- (2) 大会記録写真集の制作

3 報道取材

大会の報道活動に関し, その円滑な運営を図るための機関として報道委員会を設置する。

4 その他

その他, 広報基本方針に基づき, 効果的な広報を実施する。

第19回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本計画（案）について

第19回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針に基づき、県民等の自発的・積極的な参加を促すために、次のとおり具体的取組を示し、大会開催に向けた全県的な県民運動の盛り上げを推進する。

1 具体的取組

- (1) 大会イベントやボランティア活動への参加など、県民が一体となって大会を盛り上げる。
 - ・開閉会式や大会イベントに参加する
 - ・競技会場で選手を応援する
 - ・ボランティアとして大会に参加する
 - ・大会募金で大会を支援する

- (2) 来県者を心のこもった温かいおもてなしで迎える。
 - ・来県者をたくさんの花ときれいな街で歓迎する
 - ・手作りののぼりや横断幕などで選手を歓迎する
 - ・豊かな食材を活用した郷土料理や特産品でもてなす
 - ・元気なあいさつ・親切な対応で来県者を迎える
 - ・来県者が安心して行動できる環境づくりをする

- (3) 障害者スポーツに対する意欲や関心を高め、障害者のスポーツ活動を推進する。
 - ・大会のオープン競技に参加する
 - ・障害者スポーツイベントや開催競技の体験教室に参加する
 - ・障害の種類や程度に応じたスポーツ活動を実践する
 - ・地域の障害者スポーツ活動を応援する

- (4) いばらきの魅力を再認識するとともに、積極的に県内外に情報発信する。
 - ・豊かな自然や特色ある歴史、文化、最先端の科学技術などの地域資源を再認識するとともに紹介する
 - ・地産地消を推進するとともに茨城の「食」を紹介する
 - ・障害者スポーツを活用した交流の拡大を図る
 - ・地域ブランドを積極的にPRする

第19回全国障害者スポーツ大会 会場地バリアフリー等基本方針（案）について

第19回全国障害者スポーツ大会に参加するすべての人にとって使いやすい会場づくりをすることにより、年齢、性別、障害の有無に関わりなく、誰もが安全で快適に大会を楽しむことができるように、次のとおり会場地のバリアフリー等の整備を行う。

1 基本目標

(1) 利用しやすい会場づくり

段差解消のためのスロープや車椅子での利用が可能な広めのトイレ等の仮設物を設置するなど、すべての人にとって利用しやすい会場づくりを図る。

(2) 分かりやすい情報の提供

会場や会場周辺の多くの人が集まる場所への案内ボランティアの配置をはじめ、大きな文字やふり仮名を使った案内看板や電光掲示板、磁気誘導ループ^{*}の設置、インターネットによる情報発信など、すべての人に分かりやすい情報提供を図る。

2 整備の視点

(1) 安全性

障害のある人をはじめ、参加者全員に配慮した動線の設定や区分けを行い、高齢者や幼児など、すべての人にとって安全な会場の整備に努める。

(2) 快適性

看板や磁気誘導ループ^{*}など情報伝達設備や、スロープ、オストメイト対応の多目的トイレ等の設置を行い、参加者が快適に利用できる会場づくりに努める。

(3) 簡素・効率化

既存の施設を最大限に活用し、仮設物による対応を基本とする。

また、国体や過去に使用した物品等を有効活用するなど、簡素かつ効率的な会場設営に努める。

^{*}磁気誘導ループ…場内アナウンスの音声等を補聴器に直接を送り込むための放送設備。対応する補聴器が、敷設されたループ用配線から磁気を受信すると、音声信号に変換し、クリアな音声を聞くことができる。

第19回全国障害者スポーツ大会
マスコットキャラクター愛称（案）について

いばラッキー（国体と共通）

（愛称選定の趣旨）

- ・ 茨城（いばらき）をイメージでき、馴染みやすく、親しみやすい。
- ・ ラッキー星のかけらや幸運を届けるというプロフィールに合っている。
- ・ ひらがなを使用することでキャラクターの雰囲気にも合う。



第19回全国障害者スポーツ大会
マスコット「いばラッキー」

<プロフィール>

はるかな未来に、幸運のエネルギーでできたラッキー星がある。その星のかけらが弾けて、地球の茨城にやってきた。

茨城（イバラキ）は、ラッキー星と名前がちょっと似ていてずーっと気になっていた。

みんなに幸運を届けることが大好きで、好奇心が旺盛！頭にあるアンテナで幸運の届け先をいつも探している。

手を振ると左手の緑のハートからは「夢を描くパワー」を、右手のオレンジのハートからは「勇気のパワー」を発することができる。

頑張っているひとを見るとアンテナが反応！背中の翼でどこへでも行って、輝くみんなに夢と幸運を届けます！

（参考）

「いばラッキー」の愛称は、平成26年10月29日の茨城国体第4回広報・県民運動専門委員会で決定し、同年11月22日の2019いきいき茨城ゆめ国体PRイベントで公表されました。

報 告 事 項

第19回全国障害者スポーツ大会 茨城県選手育成・強化検討委員会の 設置及び審議状況について

- 1 **設置目的** 第19回全国障害者スポーツ大会に向けた、茨城県を代表する選手の確保及び育成・強化の推進並びに大会を契機とした障害者スポーツの普及・振興を図ること
- 2 **所掌事務** ①選手の確保及び育成・強化に関すること ②障害者団体、競技団体等との連携に関すること ③障害者スポーツの普及・振興に関すること 等
- 3 **構成** 福祉団体12, 競技団体11, 大学関係2, 県関係課4の代表者
- 4 **部会** 選手育成・強化事業の具体的な検討及び円滑な実施のため、施設入所者や在宅の方を対象とした「一般競技者普及強化部会」と、特別支援学校の生徒等を対象とした「児童生徒普及強化部会」を設置

5 第1回委員会開催結果

- (1) 日時 平成26年12月24日(水) 13:00~14:45
- (2) 場所 県庁舎 9階 講堂
- (3) 委員 参考資料1「名簿」のとおり
- (4) 結果

項目	内容	結果
説明事項	・検討委員会の設置要綱について	・了解された。
審議事項	・委員長及び副委員長の選出について ・普及強化部会への付託事項, 委任事項(案)について	・事務局(案)のとおり可決 ・原案のとおり可決
協議事項	・選手育成・強化基本計画(案)について	・次の委員会で審議・決定することとされた。
報告事項	・長崎大会での茨城県選手団の結果について	

※委員長 県身体障害者福祉団体連合会専務理事兼事務局長 安 義隆
副委員長 県障害者スポーツ指導者協議会副会長兼理事 長野正文
県特別支援学校体育連盟事務局長 篠田総子
県障害福祉課長 桜井正樹

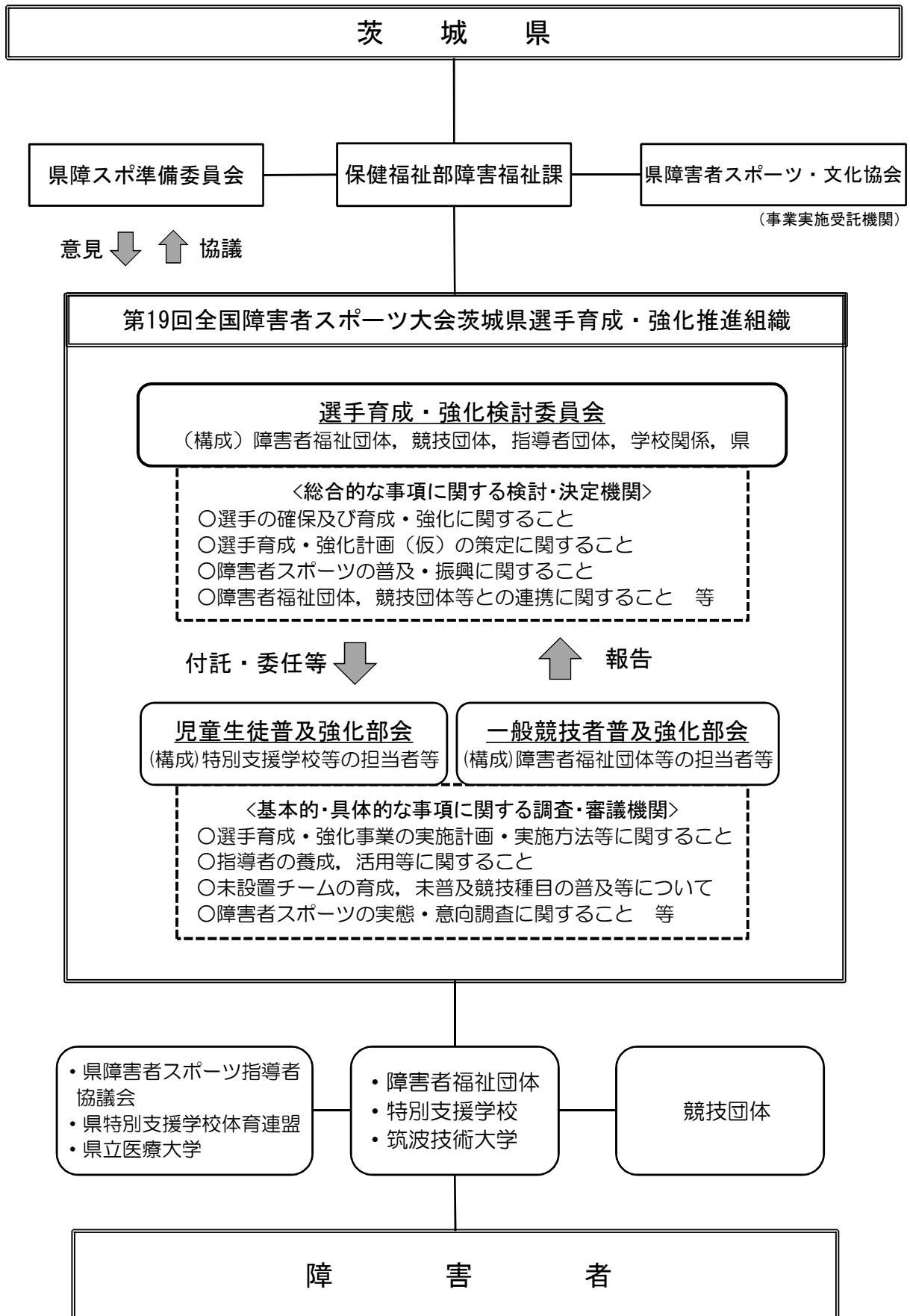
(5) 主な意見等

- ・身体障害者の部については全体的に成績が悪い。より積極的に、障害者スポーツの普及促進に努めていく必要がある。
→(事務局)関係各位の協力をいただきながら積極的に対応していきたい。
- ・一般企業に所属している障害者が練習会や大会に参加する場合、会社側の理解を得づらい。県からは、依頼文書以外にも、説明に努めるなど支援してもらいたい。
→(事務局)具体的な事例ごとに、丁寧に対応していきたい。
- ・聴覚障害者が指導者講習会を受講することは可能なのか。
→(事務局)全ての障害者の受講が可能。手話通訳者も準備できる。

**第19回全国障害者スポーツ大会
茨城県選手育成・強化検討委員会委員名簿**

機関・団体名	氏名
一般社団法人茨城県身体障害者福祉団体連合会専務理事兼事務局長	安 義 隆
一般社団法人茨城県身体障害者福祉協議会事務局長	河 原 徳 男
茨城県肢体不自由児者父母の会連合会監事	軍 司 明 美
社会福祉法人茨城県視覚障害者協会理事	藤 枝 文 江
一般社団法人茨城県聴覚障害者協会事務局長	大 内 正 和
一般社団法人茨城県心身障害者福祉協会副会長	中 山 清 治
茨城県手をつなぐ育成会理事	根 目 沢 浩 幸
一般社団法人茨城県精神保健福祉会連合会理事	兼 清 紀 郎
社会福祉法人茨城県社会福祉事業団あすなろの郷副寮長	安 蔵 康 行
茨城県障害者スポーツ指導者協議会副会長兼理事	長 野 正 文
茨城県車いすスポーツ連絡会会長	小 松 崎 進
茨城県特別支援学校体育連盟事務局長	篠 田 聡 子
公益財団法人茨城県体育協会専務理事	市 村 仁
茨城県水泳連盟理事長	須 藤 秀 邦
茨城陸上競技協会競技委員長	内 田 尊 久
公益財団法人茨城県サッカー協会評議員	加 藤 貴 之
茨城県バレーボール協会障害者担当	杉 山 雄 平
茨城県バスケットボール協会理事	戸 塚 賀 久
茨城県卓球連盟理事	中 野 敏
茨城県ソフトボール協会事務局長	大 久 保 進 司
茨城県アーチェリー協会事務局長	森 川 洋 一
茨城県ボウリング連盟理事長	久 保 正 幸
茨城県障害者フライングディスク協会事務局長	大 内 秀 一
茨城県立医療大学教授兼付属病院長	和 田 野 安 良
国立大学法人筑波技術大学准教授	天 野 和 彦
茨城県障害者スポーツ・文化協会事務局長	桜 井 正 樹
茨城県保健福祉部障害福祉課長	
茨城県教育庁参事兼特別支援教育課長	石 崎 千 恵 子
茨城県教育庁保健体育課長	直 江 克 也

第19回全国障害者スポーツ大会茨城県選手育成・強化推進組織図



第14回全国障害者スポーツ大会
「長崎がんばらんば大会」での茨城県選手団の結果について



長崎がんばらんば国体 2014
長崎がんばらんば大会 2014

第69回国民体育大会 / 第14回全国障害者スポーツ大会 君の夢 はばたけ今 ながさきから

1 大会概要

- | | |
|-----------------|--|
| (1) 大会名称 | 第14回全国障害者スポーツ大会 |
| (2) 大会愛称 | 長崎がんばらんば大会 |
| (3) スローガン | 君の夢 はばたけ今 ながさきから |
| (4) マスコットキャラクター | がんばくん・らんばちゃん |
| (5) 会期 | 平成26年11月1日(土)～3日(月) |
| (6) 場所 | 長崎県立総合運動公園陸上競技場 他長崎県内競技施設 |
| (7) 開催競技 | 正式競技13競技(5市2町)
オープン競技2競技(1市)
(ふうせんバレー, 視覚障害者ボウリング) |

2 茨城県選手団について

(1) 選手団概要

ア. 選手団員数 選手32名 役員30名 合計62名

イ. 団長 高木 昇 (茨城県身体障害者福祉協議会会長)
副団長 鈴木 金一郎 (茨城県手をつなぐ育成会会長)
副団長 桜井 正樹 (茨城県保健福祉部障害福祉課長)

ウ. 派遣期間 平成26年10月30日(木)～11月4日(火)

(2)競技出場状況及び獲得メダル数（個人競技）

競技種目	出場選手	獲得メダル数			計
		金	銀	銅	
陸上競技	14	5	4	5	14
水泳	4	2		3	5
卓球	6	2	3	1	6
フライング ディスク	5	1	2	2	5
ボウリング	3			1	1
合計	32	10	9	12	31

※団体競技については、関東ブロック予選会で優勝できなかった為、長崎大会には出場していない。

(参考：平成25年度成績 第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京」)

競技種目	出場選手	獲得メダル数			計
		金	銀	銅	
個人競技	33	10	20	11	41



3 大会の様子

【式典】

炬火リレー



皇太子殿下御臨席



ダンスパフォーマンス



閉会式



【競技会場等】

陸上競技



水泳



卓球



サウンドテーブルテニス



フライングディスク



サッカー



バレーボール



車椅子バスケットボール



フットベースボール



ふうせんバレー（オープン競技）



【バリアフリー対策等】

仮設多目的トイレ



ステップボード（床養生）



車椅子観覧席



情報保障席



モニター視聴装置



磁気誘導ループ



手話・筆記通訳受付



車椅子貸出所



【その他】

陸上競技場入場口



陸上競技場シャトルバス乗降場



ふれあい広場



ふれあい広場（物販）



長崎駅総合案内所



選手団付実施本部員・サポートボランティア

